

平成28年度事業計画



平成28年6月7日
北陸経済連合会

第三次中期アクションプラン（平成23～27年度）の最終年度であった平成27年度は、平成27年3月14日に金沢開業を迎えた北陸新幹線の開業効果に終始した1年であった。乗車人員は当初予想を大きく越え、対前年比約3倍と大変な盛り上がりが高く推移し、その経済効果が顕著に現れた。正に北陸にとって「時代を画する年」となった。

北陸新幹線が地域の成長戦略の基盤であることが強く認識され、国土交通省が敦賀までの更なる前倒し開業の検討も含めた早期開業に最大限努力する方針を明らかにし、また、政府・与党内では、敦賀以西ルート決定に向けた整備検討委での検討が進んでいる。他にも中部縦貫道、能越自動車道などの高規格幹線道路整備にも一定の進展が見られた一方、航空路線において羽田便が減便されるなど課題も残った。

全国的な人口減少・少子高齢化の進展による労働力不足や経済成長の停滞が懸念され、また、東日本大震災の発生をきっかけとして日本海側と太平洋側の連携強化が改めて強く認識される中、当会は「関東・関西・中部と並ぶ圏域となるべく、「地方創生のモデル地域」を目指して」を方向性とする、次なる第四次中期アクションプラン（A P：平成28～32年度）を策定した。

平成28年度は、この第四次中期A Pの初年度であり、これまでの取組みの総括・評価と社会経済をとりまく環境変化を踏まえ、北陸が目指すべき姿を見据えた活動を展開していく。

「住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸」に向けては、地方定着・地方回帰による定住人口増加をめざし、魅力ある仕事、職場の創出や大学との連携による北陸地域内での就業促進を図る「地域力の向上」や域内産業集積を活かしたものづくり拠点形成支援などの「産業振興」に取り組む。

「三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中核としての役割を担う北陸」に向けては、北陸新幹線の敦賀までの早期開業、フル規格での大阪までの延伸はもとより、北陸の発展のみならず太平洋側の代替機能整備という観点から、人流・物流の基盤として道路、港湾、空港等の整備促進に向けて取り組む。

「地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸」に向けては、国際化の促進、北陸新幹線ルートを太平洋側の観光ルートであるゴールデンルートと結ぶ「ゴールデンループ」の形成等による広域観光の推進に取り組む。

<H28年度事業重点方針>

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸

【地域力の向上】

- ・ 定住人口増加に向けた、北陸地域内大学との連携による域内就業促進や域外大学進学者等のU I J ターンの促進
- ・ 魅力あふれる北陸に向けた、北陸地域内の地域経済の専門家とのネットワークづくり
- ・ 女性が働き続けられる社会の実現に向けた、女性部会を中心とした活動

【産業振興】

- ・ ライフサイエンス産業、高機能新素材産業等の域内産業集積を活かしたものづくり拠点形成への支援
- ・ 企業の人材育成・技術力向上を支援する活動の実施
- ・ 魅力ある仕事・職場の創出に向けた、企業等の誘致支援

II. 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中核としての役割を担う北陸

【社会基盤整備】

- ・ 北陸の成長戦略の基盤である北陸新幹線の敦賀までの更なる早期開業およびフル規格での大阪までの延伸に向けた支援・要望活動
- ・ 太平洋側の実質的な代替機能を持つ物流ネットワークや、北陸地域内2次交通ネットワークの利便性の向上のための支援・要望活動

III. 地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸

【国際化の推進】

- ・ 地方創生と国際化に関する調査、国際展開に関する勉強会・セミナーの実施
- ・ 北陸・韓国経済交流会議の効果的な開催
- ・ アセアン諸国との経済交流会議の開催

【広域観光推進】

- ・ 北陸三県が一体となった広域観光の推進や関東、関西、中部をはじめとする大都市圏との交流拡大<ゴールデンループの形成等>
- ・ 観光ルートの創出やニューツーリズムの創造等による、新たな視点での観光資源の発掘

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸		1. 地域力の向上	総合対策委員会
アクションプラン実施項目		28年度実施項目	
(1) 地方定着・地方回帰による定住人口増加に向けた取組み <新規>	① 魅力ある仕事、職場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の技術開発や競争力を強化するための国の補助金等支援制度(「サポイン補助金」「ものづくり補助金」等)の紹介(HP、トピックス、懇談会等) ・企業の人材育成に資する補助金等支援制度(「地域中小企業人材バンク事業」等)の紹介(HP、トピックス、懇談会等) 	
	② 北陸地域内大学との連携による人材育成および域内就業促進	・「北陸のシェアトップ100」等による北陸地域の優れた企業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸のシェアトップ100」の北陸域内大学への配布、周知、大学説明会等での活用 ・「北陸のシェアトップ100」以外の魅力ある北陸企業紹介 ・会員大学就職課との更なる連携(企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール)
		・北陸地域内企業のインターンシップ制度の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸での就職率向上を目指した、三県推進組織との連携(会員企業との個別マッチング、域内企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール、会員企業への三県推進組織の紹介)
		・北陸地域内企業の優れた人材の大学への講師派遣の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・他経連取組み状況調査(中経連ほか)
		・国際人の育成(海外インターンシップの促進支援等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業と大学とのマッチング支援(ASEANを中心とした海外インターンシップ) ・北陸AJEC、JICA等との連携、支援(補助制度の説明や案内等)
	③ 域外大学進学者等のUIJターンの促進	・域外大学進学者に対する「北陸のシェアトップ100」等による北陸地域内の優れた企業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体等との連携(域外での就職フェア等へ協力)
(2) 女性が働き続けられる社会の実現に向けた取組み <新規>	① 女性部会の提言(子育て、介護等、離職防止のための施策に関するもの等)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性・子どもの北陸移住に向けたPR、女性の企業トップによる講演会、部会員による企業視察 ・女性が働き続けられる社会実現に向けた政府要望項目検討、政府要望活動への参加 	
(3) リタイア人材の活用 <新規>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地域内の関係諸団体(経営者協会、シルバー人材センター、労働局等)が実施するセミナー、合同説明会等への支援およびPR(北経連HP、トピックス等) ・合同説明会への会員企業の参加呼びかけ 		
(4) 二地域居住の推進支援 <新規>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸の魅力PR実施(北陸イメージアップ推進協議会HP等) ・北陸域内の二地域居住実例調査・紹介 		
(5) 魅力あるまちづくりに関する取組み <新規>	① 北陸地域内の地域経済の専門家とのネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地域政策研究フォーラムとの連携 ・会員大学研究者の活用(会員懇談会等での講演) 	
	② PPP、PFI等民間活力の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「PPP、PFIセミナー」(日本政策投資銀行等との共催)への支援およびPR 	
(6) エネルギーセキュリティ強化に向けた取組み	① 原子力、再生可能エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・政府要望への織込み ・経産局等への協力等(経産省事業等への後援、支援等) ・情報収集、自治体、エネルギー事業者等との情報交換等 	
	② 水素エネルギー、地熱、メタンハイドレート等の活用推進支援 <新規>	<ul style="list-style-type: none"> ・政府要望への織込み ・経産局等への協力等(経産省事業等への後援、支援等) ・情報収集、自治体、エネルギー事業者等との情報交換等 	
(7) 国等に対する提言機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・政府要望活動(政府要望WG取りまとめ、政府与党等訪問) ・国・3県等の活動フォロー ・行政当局・政党との懇談会開催 		

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸		2. 産業振興	先端技術推進委員会
アクションプラン実施項目		28年度実施項目	
(1) 域内産業集積を活かしたものづくり拠点形成支援	① ライフサイエンス産業の振興支援	北陸ライフサイエンスクラスター事業の推進 [HIAC実施(北経連支援)] (HIAC : (-財) 北陸産業活性化センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・HIACが総合調整機関として推進している地域イノベーション戦略支援プログラム(文科省補助事業)を支援 ・北経連ネットワーク活用等によるライフサイエンス分野への参画企業拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会開催、クラスター主催シンポジウム等の共同開催・後援 ・クラスター事業の活動に資する情報提供 ・北陸(日本)・韓国経済交流会議等による海外展開支援・分科会等開催により先方関係者との意見交換 ・その他ライフサイエンス分野の振興支援
	② 高機能新素材産業の振興支援	関係機関との連携による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能新素材(炭素繊維材料、マグネシウム・チタン等軽金属材料、ナノファイバー材料)等の開発・加工技術等について情報収集・発信を実施 ・各材料の最新情報を提供するシンポジウム・セミナー開催 ・上記参加者同士の交流の場や講師との面談の場を提供 ・先端技術を擁する施設等の視察
(2) 新規事業創出、産業高度化、付加価値向上のための産学官連携支援	① 研究会等による推進 [HIAC実施(北経連支援)]	次世代ロボット、医療・介護機器、ICT・ビッグデータ等	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野において関係各所と連携し、情報交換等の場を提供 ・「次世代ロボット研究会・北陸」の開催 ・「高信頼システム情報交換会」の開催 ・北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)との連携・協力 ・医工融合研究会への支援
	② 技術アドバイス・コーディネート活動 [HIAC実施(北経連支援)]		<ul style="list-style-type: none"> ・各種交流の場を通して得られた大学の研究シーズや企業のニーズを産学官連携コーディネータ[HIAC]に橋渡しすることにより、産学官連携による事業展開やマッチング等を支援 ・公的支援事業や補助金制度情報の入手及び関連組織・企業への情報提供
	③ 北陸地域ものづくり展示会への支援		<ul style="list-style-type: none"> ・北陸技術交流テクノフェアやマッチングハブ金沢など地域の展示会開催に対する協力
(3) 新技術等の活用による産業振興支援<新規>	① 講演会、セミナー等による事例紹介、啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・最新技術に精通した講師による講演会、セミナー等を開催し、時宜を得た情報提供・事例紹介を実施(例: AI、自動運転、IoT) ・上記参加者同士の交流の場や講師との面談の場を提供 ・「北陸のシェアトップ 100」(世界または日本国内で高いシェアを誇る131製品を紹介)の有効活用
	② 大学・企業の視察会、最新技術の紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・大学の研究施設や企業(「シェアトップ100」を含む)の先端施設の視察会等を実施し、最新技術を紹介
(4) 企業の人材育成支援	① 講演会、セミナー等による事例紹介、啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・業務能力向上を支援(例: 知的財産、デザイン、サイバーセキュリティ)
(5) 企業誘致等	① 域外企業の本社機能移転の促進支援 <新規>		<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、及び中京または関西圏における大規模展示会に出展し北陸の企業立地環境(本社機能を含む)のPRを実施
	② 研究機関等政府関係機関の誘致支援 <新規>		<ul style="list-style-type: none"> ・北陸3県等の誘致要望内容を情報収集 ・国への政策提言・要望に反映
(6) 6次産業化に資する農林水産業との連携<新規>	① 域内農林水産業の競争力強化支援		<ul style="list-style-type: none"> ・大学研究者、行政と連携し、先進的事例等の情報収集

Ⅱ. 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中核としての役割を担う北陸	1. 社会基盤整備	社会基盤整備委員会
--	-----------	-----------

アクションプラン実施項目		28年度実施項目	
(1) 広域社会基盤整備の推進	① 関東、関西および中部との交流促進のためのアクセスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の敦賀までの早期開業 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸三県等と連携した政府、与党等に対する、早期開業に向けた要望活動 金沢開業効果の検証と課題の整理【調査研究】
		<ul style="list-style-type: none"> フル規格での大阪までの延伸 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸三県、関西経済連合会等と連携した政府、与党等に対する、2016年中の敦賀以西ルート決定と2030年頃までの一日も早いフル規格での大阪までの全線整備に向けた要望活動 敦賀以西ルートの情報収集 BCPを念頭に置いたゴールデンループの活用検討
	② 陸・海・空一体となった人流・物流基盤の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 太平洋側での巨大災害発生時に実質的な代替機能を持つ物流ネットワークの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「北陸地域国際物流戦略チーム広域バックアップ専門部会」への参画
		<ul style="list-style-type: none"> 高規格幹線道路の4車線化、ミッシングリンクの解消 	<ul style="list-style-type: none"> 主催行事や三経連・西日本経済協議会等での国交省等に対する、代替補完機能等をアピールする要望活動 [未着手区間] 能越自動車道：田鶴浜-病院西IC 東海北陸自動車道(4車線化)：飛騨清見IC-小矢部砺波JCT 舞鶴若狭自動車道(4車線化)：舞鶴西-敦賀JCT
		<ul style="list-style-type: none"> 北極海航路利用拡大に対応する日本海港湾拠点の国際化 	<ul style="list-style-type: none"> 整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携(政府への要望活動の実施等) <ul style="list-style-type: none"> クルーズ船誘致に向けた港湾整備 CIQ対応の迅速化 等 各県港湾の利活用に関する勉強会の実施 東海地区での北陸港湾ポートセールスの実施 (北陸港湾の利用拡大を荷主企業等へPR 代替輸送訓練の機会を捉えて実施)
		<ul style="list-style-type: none"> 北陸地域内2次交通ネットワークの利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携(政府への要望活動の実施等) 各県並行在来線利用促進協議会等への参加
	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地域内空港の活性化(LCCの誘致、プライベートジェットの受け入れ推進等) 	<ul style="list-style-type: none"> 活性化に向けた行政、他経済団体等との連携によるPR(政府への要望活動の実施、利便性向上の航空会社への働きかけ等) 小松、富山両空港の便数維持、乗り継ぎ割引の拡大 成田空港の利活用(増便、国際便接続の利便性向上) 域内空港間の国内外路線の重複日程、時間帯の是正による回遊性の確保 等 <ul style="list-style-type: none"> 諸活動を通じて北陸をPRすることによる海外LCCの誘致支援 域内空港の利活用に関する勉強会の実施 	

Ⅲ. 地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸	1. 国際化の推進 (北陸AJECと連携)	国際交流推進委員会
---	--------------------------	-----------

アクションプラン実施項目		28年度実施項目
(1) 北陸地域・企業の国際化のあり方・方向性の提言	① 経済活性化に資する企業の国際化に関する調査研究 ② 大学・研究機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方創生と国際化」をテーマとした共同研究の実施 政府統計の個票データを用いて以下の調査・分析を行い調査結果を取りまとめ ・北陸企業の国際化の特徴(三大都市圏, 他地方圏との比較)の把握と要因分析(福井県立大, 北陸AJEC) ・北陸企業の国際化と生産性・雇用・研究開発活動の関係(経済産業研究所, アジア経済研究所) ・北陸地域の産業集積と国際化の関係(アジア経済研究所) ・北陸企業の生産・販売ネットワークのパターンと国際化の関係(経済産業研究所) 等 <p>体制: 福井県立大学, 経済産業研究所(RIETI), ジェトロ・アジア経済研究所, 北陸AJECの共同研究</p>
(2) 環境変化に対応した交流事業の方向性検討・実施	① 北陸・韓国経済交流会議の効果的な実施	・「第17回北陸(日本)・韓国経済交流会議」(8/30,31富山開催)の実施
	② 海外諸国との交流(ASEAN諸国等) <新規>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日中経済協力会議」(11月富山)の開催支援 ・関係機関と連携したASEANとの経済交流促進 ・ベトナムと北陸経済界との経済交流促進 等

Ⅲ. 地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸	2. 広域観光振興	広域観光推進委員会
---	-----------	-----------

アクションプラン実施項目		28年度実施項目	
(1) 北陸三県の観光業界が一体となった広域観光の推進	①「北陸観光サロン」等の開催による連携強化	・インバウンドを中心に著名な講師に依頼し、年数回講演会など開催	
	②観光産業を担う人材育成への取り組み	・「北陸観光サロン」等で得た人材、団体と連携・協力し新たなしくみづくりを検討 ・大学生観光まちづくりコンテスト北陸ステージの誘致 ・北陸三県誘客促進連携協議会へ参画 afterDCなど検討	
(2) 国内外に向けた北陸の魅力のより効果的な発信	①インターネットを使った海外への情報発信	・英語版ホームページの構築	
	②北陸新幹線ルートを加えた太平洋側との「ゴールデンループ」の形成	・国や沿線自治体へのアピール(長野県などでのPR活動)	
	③国際会議等(MICE)の誘致に向けた支援	・政府要望への織込み ・大学、学会などの誘致活動	
(3) 関東、関西、中部をはじめとする大都市圏との交流拡大 ＜新規＞	①首都圏でのイメージアップイベントの実施	・江ノ電連携事業の継続 ・京急との連携事業の継続 ・首都圏でのプロモーションイベントの実施	
	②経済団体、JR他、関係機関との連携による交流事業への取り組み	・「昇龍道プロジェクト推進協議会」へ参画 ・トップミッションへの会長参加、推進協議会への参加 ・昇龍道物産観光展実行委員会への参画 ・西日本広域観光ルート検討会への参画	
(4) 観光客の増加に伴う諸問題への取り組み ＜新規＞	①外国語表示・Wi-Fi整備等	・講演会等を開催して理解を深めるとともに、政府要望等へ織込む	
(5) 新たな視点での観光資源の発掘	①長期的視点に立った発掘 ＜新規＞	・長期滞在型観光の促進に向けた調査提言等 ・北陸のイメージ調査を実施、27年度調査を基に長期滞在型観光視点から方策を検討	
	②女性ニーズ、外国人ニーズにマッチした施設、観光ルートの整備	・政府要望への織込み	
	③ ニューツーリズムの創造	・教育観光と産業観光を組み合わせるニューツーリズム	・教育旅行誘致に関して、3県、JRの主導する「北陸3県修学旅行誘致推進プロジェクト」(H28.6設置)への参画 ・修学旅行フェアの実施
		・歴史、スポーツなどのニューツーリズム	・新たな視点でのニューツーリズムの検討
	・産業観光における時代別、分野別等のルート策定	・北陸産業活性化センターの「北陸地域における産業観光の現状と課題」に関する調査及び研究結果を参考にして検討	